



2016年2月吉日

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
各クラブ会長・幹事 様
FWT クラブ内委員長 様

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
ガバナー近藤正彦
FWT 地区コーディネーターL 鈴木令子
100周年記念祝祭委員会委員長 L 戸田一郎

中古眼鏡リサイクルにご協力をお願い

拝啓 春寒の候、貴ライオンにおかれましてはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、ライオンズクラブ国際協会では100周年記念奉仕チャレンジの1分野として、視力保護を取り挙げております。FWT および100周年記念祝祭委員会では、各クラブの皆様、視力保護のためのアクティビティとして、中古眼鏡リサイクルを推奨いたします。引き出しの奥に、使わなくなった眼鏡が眠っていないでしょうか。その眼鏡が他の人の人生を変えるかもしれません。

中古眼鏡リサイクルをアクティビティとして行っていただく方法のひとつとして、ライオンズ指定の眼鏡リサイクル回収箱（¥1,810.-）を各クラブで購入していただき、例会場、図書館、学校、コミュニティー・センター、コーヒー・ショップ、眼科の診療室、その他、人々が集まる公共の場所などに置くこともできます。まだ使用できる老眼鏡、度付き眼鏡、子供のメガネ、サングラス等を入れていただき、5月ごろまでをめぐりに収集をお願いします。回収方法と送付先については追ってご連絡いたします。これは「100周年記念奉仕チャレンジ」としてMyLCIにご登録できます。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

敬具

オーストラリアの活動例

この10年でLions Recycle for Sight Australiaは、オーストラリアの1,000のライオンズ/ライオネス・クラブと日本のクラブの協力により、400万個近く的眼鏡を収集することができました。同センターは世界中に350万個近く的眼鏡を発送しました。送付先にはアフリカ諸国、中東、インド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュ、ネパール、クルディスタン、欧州のモルドバ、パプアニューギニア、東ティモール、中国を含む多数のアジア諸国、米国領サモア、バヌアツ、ソロモン諸島フィジー、ベトナム、ラオス、アフガニスタン、太平洋のインドネシア群島の小さな島々などが含まれます。

Lions Recycle for Sight Australiaのプログラムは、オーストラリア全体、日本、およびマレーシアで実施しています。拠点は5つあります。2か所はライオンズの管理者が担当し、3か所は矯正施設が自主管理しています。現在、クイーンズランド州メルボルン市のSpecial Schools Centreにも拠点があります。すべてのセンターの主要な役割は、リサイクルとトレーニングを行うことです。法を犯した人々が眼鏡のリサイクル作業のトレーニングを受けることで、スキルと仕事の倫理観を身につけ、現代社会への復帰を後押しします。

センターでは250個の眼鏡とサングラスの分類、選別、箱詰め作業のほか、施設の能力を強化して第三世界のニーズに対応するため、1つの拠点にレンズ製造装置を設置しました。近い将来、計3つの拠点にこの装置を導入する予定です。

最近、オンライン眼鏡販売メーカーと提携し、オンラインで販売した眼鏡1個につき無料で1個の眼鏡を提供する支援がプログラムに加わりました。年間5,000個の新しい眼鏡が提供されると推定されます。現在、このプログラムではオーストラリアと日本から年間50万個の眼鏡が届けられており、新品同然に再生した後、ほぼ同数の眼鏡を世界中の団体に配布しています。